

大阪学芸中等教育学校

卒業生に聞く 母校への想い

先輩に
会いたい!

2003年、大阪で唯一の中等教育学校として開校。高校募集のない完全中高一貫校で過ごす6年間は、ゆとりあるカリキュラムと、きめ細かな指導が特徴です。今回集まってくれたのは7人。久しぶりに会う仲間もいましたが担任の先生を囲んだ瞬間、あの頃に戻りました。

個性的な先生がいっぱい 勉強も楽しかった!

——入学のきっかけや入ってよかったことは？

宮澤さん 入試前のプレテストを受ける時、間違えたところについて、面白いコメントが書かれていたのですね、一人ひとりをしっかりと見てくれる学校だと思いました。

山本さん 新しい学校へのものめずらしさもあつたけれど、ここでみんなに会えたことが一番よかったです。

井岡さん 鈴木さんたちと1年からバスケットボール部に所属し、4年で他校と試合ができるように正式なクラブにしたのが一番の思い出です。

米田くん 先生方のフォローが手厚く、入試が近づくと、ほぼマンツーマンで教えてもらいました。休み時間や放課後は自習室に行き、同じ席で勉強するのが日課でした。その机だけが広くて参考書や問題集、マグカップまで置けたから、あの机まだありますか？

良本先生 残念ながら撤去したよ(笑)。

鈴木さん 個性的な先生が多くて授業が楽しかった。英語の先生は毎週海外の雑誌をコピーして配り、なぜか家で採れた「山椒」のオマケまで付けてくれました(笑)。

宮澤さん 世界史の先生は国々の出来事をストーリーリッリッとして説明され、身ぶり手ぶりで臨場感いっぱい。どの時代もドラマチックにインパクトされました。

——思い出に残る学校行事は？

岡本さん 4年間コーラスコンクールの指揮を担当し、5年のときに優勝できたこと。最初はバラバラだったけれど、本番が近づくとつれみんなの気持ちが一つになっていくのがうれしかったです。

山本くん 「優勝」って聞いた瞬間、あちこちでハグし合ったよね。僕は宿泊行事も忘れられません。どこに行くかよりも誰と行くかが大切で、このメンバーと一緒ならどこでも最高でした。

◀外部ホールを借り、審査員にプロの演奏家を招くなど、本格的なコーラスコンクール。

先生方の手厚いフォローで 志望大学に合格できた

——米田くんのように現在の学部選りや将来を決定づけたことは？

三田くん 低学年の頃から生物が大好きで、3年のときに学校でもらった生物図録は、全ページを暗記するほど読みました。それがきっかけで免疫学に興味を持ち医学部を目指しましたが、この学校に入学した頃の成績は中ぐらい。合格できたのは先生方の指導のおかげです。

井岡さん 私は小学校の体育教師を目指して

ています。きっかけは2年の授業で職業について考えたこと。私にとって一番身近な職業は目の前にいる先生方。心から生徒を思ってくださるのを感じ、就職ついでなあと思いました。

——苦手科目の克服や得意科目の伸ばし方は？

井岡さん 1・2年の頃から英語が大の苦手で、3年のときはクラブの後輩に教えてもらう始末。6年の秋にお尻に火が付き、英語を基礎からやり直しました。英語はこれから先もずっと必要なのでしっかり勉強しておきましょう！

米田くん 僕は化学が苦手だったので、5年の夏休みに1日1単元ずつ覚えていくと得意科目になりました。毎日の積み重ねは本当に大切でした。

宮澤さん 数学が苦手だったので、平均点を目標に簡単な問題集からやり直しました。良本先生は低レベルの質問をしても、やさしくいていねいに教えてくれましたね。英語は海外の番組や洋画を字幕なしで見ると大好きで英検にも挑戦。友だちと教え合うと頭の中が整理され、人に説明することで自分の弱点にも気づきました。

良本先生 先輩が後輩を教える「スーパードクター制度」の基礎を作った

6年間、強い絆で結ばれた“学芸ファミリー”です。

●2011年卒業生…(前列左から)鈴木 美香さん/京都大学・医学部人間健康科学科、岡本 梓さん/京都大学・文学部文学科
(後列左から)良本完爾先生、米田 直生くん/神戸大学・海事科学部、宮澤 恵紗さん/大阪大学・外国語学部英語学科、
三田 和広くん/大阪大学・医学部医学科、井岡 紗和子さん/大阪教育大学・教育学部小学校体育専攻、山本 堅太郎くん/東京大学・理科I類



のもこの学年。君たちが熱心に教える姿を見て、下級生に声をかけて勉強会をしたんだよね。

岡本さん 私は文学部を受験したけれど実は現代文が苦手で、先生の個別指導で乗り切りました。頑張れたのは、勉強の合間の先生との雑談が楽しかったからです。得意科目は日本史で授業内容をきっちりノートにまとめ、プリントは解答だけではなく重要ポイントも書き込みました。

三田くん 苦手科目は現代文と古文でわからないところを明確にし、集中的に勉強しました。教科書は基本なので、授業をおろそかにしてはいけませんね。

鈴木さん 私は国語が得意で常に上位をキープできるように努力。苦手科目は同じ参考書や問題集を何度も見直して克服しました。

山本くん 僕は苦手も得意もつくりたくないようでした。だけど、どの教科も及第点と油断していたら東大の入試ができず、合格はまぐれのようなもの(笑)。後輩のみなさんは地道に勉強してください。

この学校で出会えた 先生や仲間へ感謝!

——先輩たちへのメッセージを。

井岡さん 人との関わり方からあいさつ、敬語の使い方まで、自然と常識を身につけることができました。

尊敬できる素敵な先生方に出会えたし、いつかこの学校の教壇に立ちたいです。

米田くん 先生方が熱心に指導してくださるので安心ですが、科目ごとに優先順位を決めてドラドラせずに勉強しましょう。

宮澤さん この学校ではすばらしい人間関係が築けました。友だちと過ごす6年間は大切に。岡本さん 仲間との絆が強まるのは行事なので積極的に参加してほしい。勉強の息抜きにもなりますよ。

鈴木さん 今しかできないことを大切に。大人になったらほとんど行かなくなる学校の図書館へ、私は毎日のように通っていました。

三田くん ひとつでも興味のあることを見つけてほしい。僕は生物図録を読み切ったことが今につながっています。

山本くん 得たものはここで出会った仲間たち。10代の深い友情は社会に出てからは築けないので、友だちと本気でぶつかり、何ごとにも積極的に取り組んで。行動してからの後悔よりも、しなかったことの後悔の方が大きいことは卒業してからわかります。

良本先生 教師として僕の楽しみはむしろこれから。みんなが社会で活躍するのを楽しみにしています。